

「平野屋会所フォーラム」に200人が参加



市教育長のほか、国会議員、府議、市議も多数出席

大東民報

議会版

日本共産党
大東市議会議員団
大東市谷川1丁目1-1
TEL 072-871-5588



市会議員
ちあき昌弘
まさひろ

・090-8939-5743



市会議員
こびき勉
つとむ

・090-3864-5037



市会議員
とよあし勝子
かつこ

・090-1079-8939

法律相談

11月2日(金)
夜 7時
市民会館
予約制です
TEL 871-5588 まで

大東市の「平野屋会所を国史跡に！」と銘うったフォーラム(シンポ)が、十四日(日)の午後、大東市民会館大ホールで行われ、二〇〇人近い市民が参加しました。

「平野屋会所を考える会」が主催したシンポは、これまで連続的に開催されてきており、今回が十回目です。

メイン講師は伊藤正義氏で、現在は鶴見大学の教授ですが、今年3月まで文化庁の主任調査官をされており、大東市の平野屋会所の歴史的な意義をいち早く指摘された方。講演の中で特に「農業史跡は全国で3例しかない」という下りは驚きであり、新鮮だった。

参加者の多さや参加層をみても、今回のシンポはぐっと質が変わったと

いえます。一般の市民以外に、市教育長以下の市教委幹部をはじめ、政党・議員では日本共産党の山下よしき参院議員、民主党の元衆院議員、2人の大東市選出の府会議員に加え、市会議員が7人も参加しました。

内容的にも後半のパネルディスカッションは、大いに盛り上がりました。佐久間貴士氏(大阪松蔭女子大学教授)がコーディネーターを務め、専門家では伊藤正義氏、中村博司氏(前・大阪城天守閣館長)、小林義孝氏(平野屋会所を考える会)の3氏が発言され、この他に地元・平野屋区長の植田善孝氏、異色などころでは17代目の高松長左衛門の孫(広本美紗子さん)も登場されました。

今年も「南郷だんじりまつり」が盛大に



太子田、赤井、氷野、御領、諸福の5地区から「だんじり」が集結する「南郷まつり」が14日に開催されました。古崎議員もはつぴ姿で他の議員とともに参加しました。

まぢづづくり委員会が行政視察

10月3日～4日、同委員会が宮城県・名取市と東松島市を行政視察し、古崎議員が参加しました。

●名取市「なとり百選」

市内の名所旧跡をはじめめ誇るべきものを、地元自治会推薦八七七件、市民公募一五五件、計一〇三二件から選定委員会が絞り込んで一〇〇件を選考。応募の多さに驚き、「大東でも検討しては」との声が出されていました。

●市HP上にバナー広告

同市では市のホームページ上に企業の広告を掲載、広告収入を得ています。上部に常時掲載枠(五枠、一件月2万円)、下部にランダム枠(10枠、一件月三千元。但し一度に表示されるのは五件)。大東市が掲載を検討している市報への企業広告は、同市では掲載していません。

●東松島市「職員の人材育成方針」

「同方針」の冒頭に「市民が主役」を掲げ、地域協働の職員育成をめざし、同時に「行革」論の立場から「経営感覚」も果たっています。達成目標値を管理職も部下もともに掲げて追求。このなかでメンタル面で問題ある職員が生まれているそうです。

●職員の時差出勤を導入

保育所や学校の市職員は、どこでも本庁と違い時差出勤となっていますが、同市では合計7種類の時差出勤制度を導入。狙いは超過勤務手当(残業代)を節約することにあります。個人の時差出勤であり、職場毎には業務上、差し支えないとのことでした。



府下市町村決算の概況がまとまる

06年度市町村別普通会計決算(見込み) 単位:百万円

市町村名	歳入総額(A)	歳出総額(B)	歳入歳出差し引き(A)-(B)=(C)	翌年度へ繰り越すべき財源(D)	実質収支(C)-(D)=(E)	単年度収支(E)-(G)	05年度実質収支(G)	05年度単年度収支
東大阪市	167,928	166,779	1,149	282	867	50	816	461
枚方市	113,029	111,635	1,394	352	1,042	633	409	133
豊中市	117,573	117,067	505	104	401	305	97	▲7
吹田市	102,116	101,596	520	136	383	141	242	▲26
高槻市	92,452	91,185	1,267	629	638	80	559	232
八尾市	96,021	95,848	174	129	44	▲12	57	▲16
茨木市	72,880	71,861	1,018	17	1,002	238	763	87
寝屋川市	73,129	72,993	136	17	119	61	59	48
岸和田市	65,799	65,687	112	19	93	▲65	158	18
和泉市	49,693	49,525	168	20	149	73	76	▲54
守口市	48,500	51,013	▲2,513	3	▲2,516	406	▲2,922	15
門真市	43,949	43,900	49	3	46	▲193	240	▲97
松原市	35,706	35,575	131	52	78	2	76	▲1
箕面市	40,206	38,660	1,546	324	1,222	179	1,043	154
大東市	36,958	36,532	426	128	298	11	287	10
富田林市	33,561	33,085	476	40	436	8	428	22
羽曳野市	36,230	36,031	200	1	199	640	▲422	364
河内長野市	32,483	32,230	253	216	37	▲172	210	62
池田市	33,668	33,330	338	0	338	103	234	▲542
泉佐野市	36,176	36,092	84	35	49	1,687	▲1,639	879
貝塚市	25,489	25,057	433	63	369	81	288	97
摂津市	31,147	30,922	225	66	159	110	49	▲18
泉大津市	25,410	25,155	255	50	205	127	79	34
交野市	21,790	21,677	113	5	108	44	64	25
柏原市	22,377	22,285	92	91	1	▲8	10	10
藤井寺市	18,666	18,745	▲79	7	▲86	▲141	55	43
泉南市	18,774	18,710	65	5	60	▲70	130	79
高石市	18,694	18,669	25	11	14	▲160	175	64
大阪狭山市	15,301	15,251	50	0	50	▲233	283	64
阪南市	17,155	16,752	403	277	126	1	125	58
四條畷市	15,641	16,182	▲541	5	▲546	148	▲693	230
熊取町	11,386	11,302	84	38	45	▲6	51	▲45
島本町	11,014	10,979	35	14	21	▲59	80	▲114
豊能町	7,967	7,741	225	72	154	66	88	▲160
岬町	6,297	6,259	38	22	16	15	1	▲13
忠岡町	6,662	6,675	▲13	0	▲13	▲15	2	0
河南町	4,470	4,362	109	0	109	▲4	112	▲7
太子町	3,983	3,949	34	0	34	10	23	▲35
能勢町	4,948	4,635	313	135	178	30	149	▲31
田尻町	5,600	5,457	143	0	143	▲112	255	103
千早赤阪村	2,410	2,345	65	1	64	44	20	▲38
都市計	1,558,499	1,550,025	8,474	3,088	5,387	4,071	1,316	2,426
町村計	64,737	63,704	1,032	282	750	▲31	781	▲339
市町村計	1,623,235	1,613,729	9,506	3,369	6,137	4,040	2,098	2,087

府下市町村の普通会計ベースの決算状況が発表されました。北河内では、大東市が三億円の黒字ですが、守口市が累積で25億円の赤字、四條畷市が同五億円の赤字で、その他では藤井寺市と忠岡町が赤字決算です。

大東市は市内法人から臨時の税収があったことと、職員が約百人も大量に退職したことが財政好転の要因と見られます。

